Hitachi Koki
POWER TOOLS for PROFESSIONAL

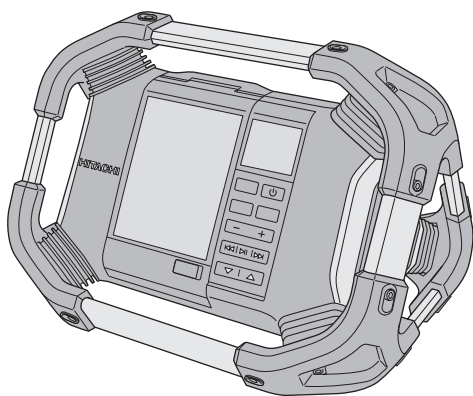
取扱説明書

機能

- Bluetooth対応
- 手動／自動選局機能
- 登録（メモリー）機能（AM／FM 各10局）
- タイマーON／OFF／目覚ましアラーム機能
- スマートフォン、音楽プレーヤーの音声出力
- 日立電動工具用蓄電池およびACアダプタ対応

日立 コードレスラジオ UR 18DSDL

Bluetooth®

このたびは、日立コードレスラジオをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

ご使用できる蓄電池について

本製品には、蓄電池が付属されておりません。
別売の14.4V蓄電池（BSL 14 xxシリーズ）および18V蓄電池（BSL 18 xxシリーズ）がご使用いただけます。
それ以外の蓄電池は、ご使用いただけませんのでご注意ください。

HITACHI

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告　：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意　：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注　：**製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

⃠、❗、⚠ の絵表示について

⃠ **禁止されている事項（図中に具体的な禁止内容）**

❗ **実行していただく強制事項（図中に具体的な実行内容）**

⚠ **注意・警告が必要な事項（図中に具体的な注意内容）**

コードレスラジオの安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池、ACアダプタを使用してください。

- 指定以外の蓄電池、ACアダプタを使用すると、けがや故障の原因になります。

表示された電源電圧で使用してください。

- 表示された電源電圧以外では、火災、感電の原因になります。

ACアダプタのコードを傷つけないでください。

- 加工したり、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、熱器具に近づけるなどしないでください。

使用しない場合は、電源プラグ（ACアダプタ）をコンセント、ラジオ本体から抜いてください。

- 感電や火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグ（ACアダプタ）の抜きさしをしないでください。

- 感電の恐れがあります。

⚠警告

電源プラグ（ACアダプタ）は根元まで確実にさし込んでください。

- 電源プラグとコンセントの間にごみやほこりがたまると、火災の原因になります。定期的に電源プラグを抜き、ごみやほこりを乾いた布で取ってください。

電源は直接コンセントからとり、タコ足配線はしないでください。

- 火災の原因になります。

風呂場やシャワー室では使用しないでください。

- ぬれた場所や雨の中でも使用しないでください。
  感電や発煙、故障の原因になります。

雷が鳴り出したら、FMアンテナや電源プラグ（ACアダプタ）に触れないでください。

- 感電の恐れがあります。

機体内部に指定外の物や水などを入れないでください。

- 金属類や燃えやすい物、水分などが入ると、感電や火災の原因になります。

異常を感じたら絶対に使用しないでください。

- 電源が入らない、音が出ない、本機が高温になるなど、異常を感じたら、直ちに使用を中止し、点検・修理を依頼してください。

分解や改造をしないでください。

- 感電や火災の原因になります。
  点検や修理はお買い上げの販売店に依頼してください。

⚠ 注意

本機に腰掛けたり、踏み台にしないでください。

- 事故や故障の原因になります。

不安定な場所や高所に置かないでください。また、ハンドルを使って、つり下げて使用しないでください。

- 落下などによるけがや故障の原因になります。

炎天下に車内や金属箱のような高温（60℃以上）となりやすい場所に放置しないでください。

- 故障の原因になります。

必要以外のときは、ゴムカバー・ゴムキャップをはめておいてください。

- 事故や故障の原因になります。

フロントカバー・リアカバーは、この取扱説明書で指定した物品の取出し・収納時以外は閉めておいてください。

- 事故や故障の原因になります。

乾電池の取扱いに注意してください。

- 乾電池の取扱いを誤ると、破裂したり、液漏れして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。
  - 指定以外の乾電池を使用しない
  - 乾電池を加熱・分解しない
  - 火や水の中に入れない
  - 乾電池は充電しない
  - 乾電池のプラス（＋）とマイナス（－）を間違えない、短絡（ショート）させない
  - 一度使用した乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない
  - 長期間使用しないときは、乾電池を取出しておく

もし、乾電池が液漏れした場合には、乾電池ボックスに付いた液をよくふき取ってください。
万一、漏れた液体が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

聴覚を保護するために

大音量の音を継続して聞くと、永久的な難聴が生じる可能性があります。音量が大きければ大きいほど、短時間で聴覚障害になりやすくなります。
長時間にわたって大音量で聞いていると、聴覚はその音量に適応してしまいます。実際には聴覚に障害を及ぼすような大音量であっても、適度で快適な音量であるように錯覚してしまうことがあります。
聴覚障害にならないように、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠注意

音量を下げてから電源を入れてください。

- 突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴覚障害の原因となることがあります。

長時間連続で使用せず、耳を休ませるために必ず休憩を取るようにしてください。

- 一般的に「安全な」音量であっても、長時間・長期にわたって音を聞き続けた場合、聴覚障害を引き起こすことがあります。

聴覚が順応するままに、音量を上げないよう気をつけてください。

- 音量には「慣れ」があることにご注意ください。聴覚が大音量に適応してしまう前に、機器の音量を安全なレベルに調節してください。

音量は周囲の人の会話や雑音が聞こえる程度に抑えてください。

周囲の雑音を遮断する目的のために音量を上げないでください。

耳鳴りや違和感を覚えたり、会話が不明瞭に感じたりすることがあれば、音楽を聞くのを中止し、病院で聴覚の診察を受けるようにしてください。

外部機器との接続時のご注意

予期できない問題が生じた場合、本製品に接続したスマートフォン／その他外部機器の内部に保存されているデータが破損したり消失する可能性があります。万一の場合に備えて、必ず事前にバックアップをしてください。

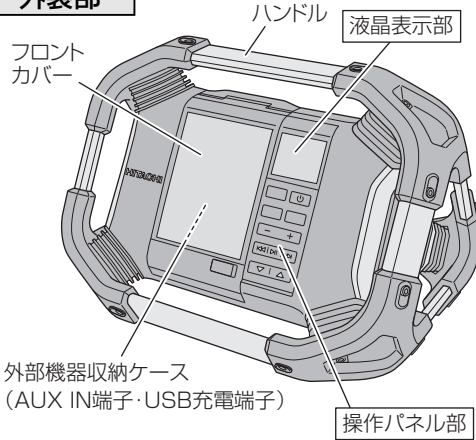
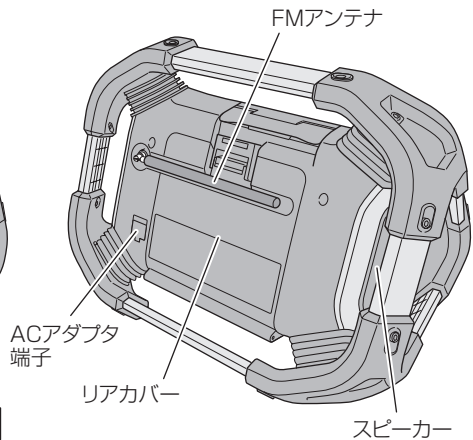
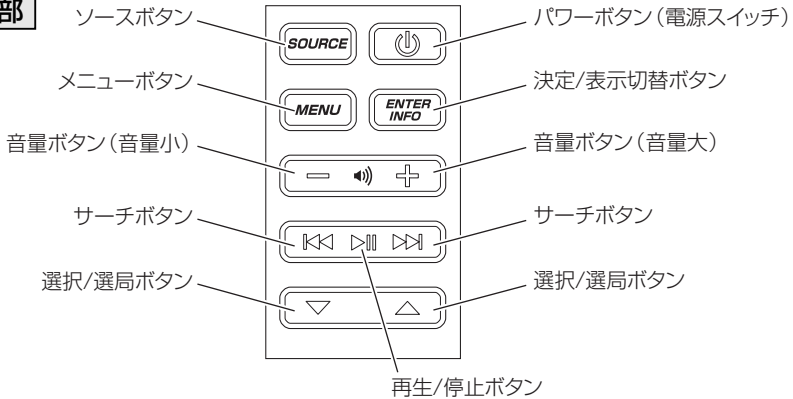
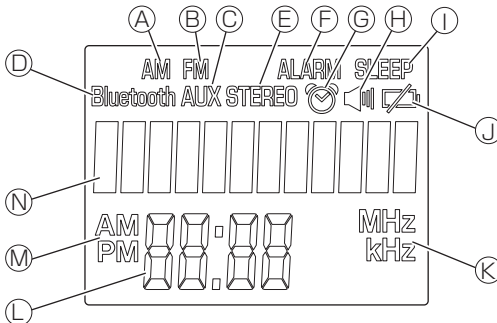
なお、本製品との接続において、スマートフォン／その他外部機器の内部に保存されているデータの破損または消失および接続機器の故障については、いかなる場合においても当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Bluetooth機器について

本製品に搭載されているBluetooth機器は 2.4 GHz帯の周波数を使用しています。
このため、以下の注意事項をよく読んで、正しく使用してください。

- **本機は電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局設備として技術基準適合証明を受けていますので、使用にあたり無線局の免許は必要ありません。**
- **本機は技術基準適合証明を受けていますので、絶対に分解や改造をしないでください。また、本機に貼ってある認証ラベル（ マーク記載）をはがさないでください。**
  法律で罰せられる場合があります。
- **本機の使用周波数帯では医療用電気機器や産業・科学機器、工場の生産ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線（免許を要する無線局）および特定省電力無線（免許を要しない無線局）などが運用されています。**
  これらの場所では電波干渉の恐れがありますので本機を使用しないでください。
- **電子レンジ、デジタルコードレス電話、無線LAN、他のBluetooth機器などは同じ周波数帯を使用しています。これらの機器と相互に電波干渉しないよう、それぞれはなして使用してください。**
  電波が届かない場合があります。
- **ペースメーカー、その他医療機器をご使用される方は、当該の医療用電気機器メーカーまたは医療機関や販売業者に電波による影響について確認してください。**
- **接続するBluetooth機器や周囲の環境によっては雑音が発生する場合があります。**
- **Bluetoothの特性上、送信側の再生よりも若干遅れて音声が出力されます。**
- **接続しようとする機器のBluetooth バージョンやプロファイル（通信手段）が本機と異なる場合は接続できません。**
- **本機は日本国内でのみ使用できます。**
- **Bluetoothによる通信によって発生した損害については、製品の不具合を除き、当社では一切の責任を負いません。**

各部の名称

外装部

操作パネル部

液晶表示部

Ａ．ＡＭ放送表示
Ｂ．ＦＭ放送表示
Ｃ．AUX表示
Ｄ．Bluetooth表示
Ｅ．ステレオ受信表示（FM）
Ｆ．アラームモード表示
Ｇ．目覚まし時計設定表示
Ｈ．ラジオONタイマー設定表示
Ｉ．スリープモード表示
Ｊ．電池切れ表示
Ｋ．周波数単位表示
Ｌ．時刻表示
Ｍ．AM，ＰＭ表示
Ｎ．マルチ情報表示

はじめに

仕　様

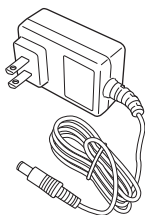
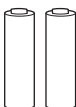
形　　名	UR 18DSDL
周波数帯域	FM：76～108 MHz AM：522～1629 kHz
アンテナ	FM：可倒式ラバーアンテナ AM：フェライトバーアンテナ（内蔵）
Bluetooth	使用周波数帯域　：2.4 GHz帯（2.400 GHz～2.4835 GHz） 変調方式　：FHSS変調方式 Bluetooth標準規格Ver.2.1＋EDR1準拠 対応Bluetoothプロファイル： A2DP（Advanced Audio Distribution Profile） AVRCP（Audio Video Remote Control Profile） Class 2
スピーカー	90㎜（8Ω）×2個
入力端子	AUX IN（φ3.5㎜）
出力端子	USB充電端子（5V、1A）
実用最大出力	ACアダプタ使用時：5W×2 14.4V：6W×2、18V：7W×2
電　　源	スライド式蓄電池　：DC 14.4V、18V バックアップ用乾電池：DC 3.0V（単3乾電池2本） 家庭用電源：AC 100V、50／60 Hz（付属のACアダプタ使用）
最大外形寸法	長さ312㎜×幅405㎜×高さ265㎜（アンテナを収納したとき）
外部機器収納	外部機器最大本体寸法：長さ155㎜×幅80㎜×高さ13㎜
質　　量	4.0 kg（蓄電池および標準付属品を含まず）

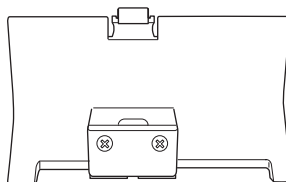
※ Bluetooth® のマークとロゴは、Bluetooth SIG, INC. の登録商標で、ライセンスに基づき使用しています。

蓄電池容量	使用時間※
1.5 Ah	約5.5時間
2.0 Ah	約7.5時間
2.5 Ah	約9.5時間
3.0 Ah	約11時間
4.0 Ah	約15時間
5.0 Ah	約19時間

※ 使用時間は参考値です。
蓄電池の種類や充電状態、使用条件により異なります。
使用条件：0.05W×2出力
FMラジオ受信時

標準付属品

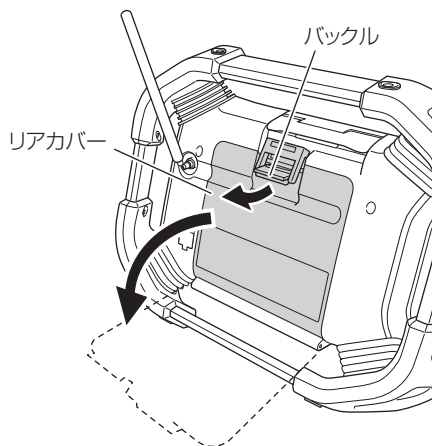
ACアダプタ

単 3 乾電池（2 本）

充電ケーブルホルダ

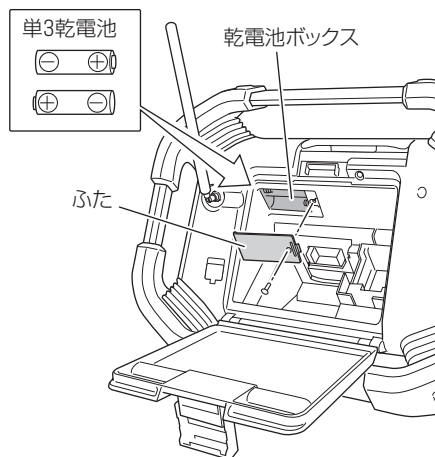
（Apple社 lightning コネクタ用）

※ Android用は本体に組込まれています。

ご使用前の準備

●バックアップ用乾電池の取付け

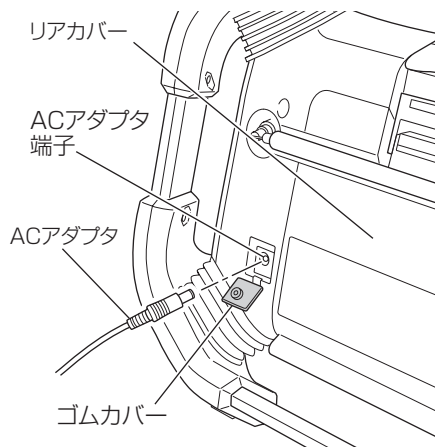
バックアップ用の乾電池を入れておくことで、時刻やラジオ局の周波数を記憶しておくことができます。

① 背面のバックルをはずし、リアカバーを開けると、バックアップ用乾電池ボックスがあります。

② 乾電池ボックスのふたを開け、表示されている乾電池の方向と同じ向きに、付属の単 3 乾電池 2 本を入れます。

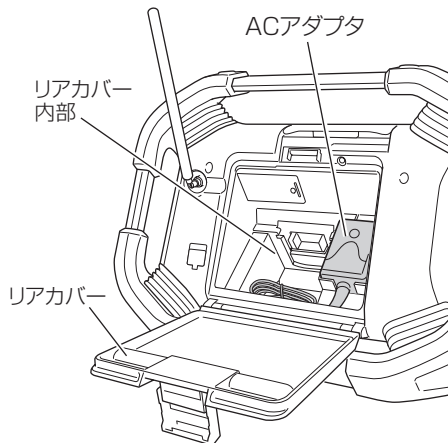
注
- **乾電池のプラス電極（＋）とマイナス電極（－）を間違えないでください。**
- **乾電池は 2 本同時に交換してください。古い乾電池と新しい乾電池を混合して使用しないでください。**
- **乾電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中に入れないでください。**

●ACアダプタの取付け

付属のACアダプタで交流 100 Vの家庭用コンセントから電源を取ることができます。

ゴムカバーをめくり、ACアダプタ端子へACアダプタをつなぎます。
次に、ACアダプタの電源プラグをコンセントにさし込みます。

注
- **ACアダプタと蓄電池を同時に使用したときには、ACアダプタが優先されます。**
  蓄電池側は消費されません。
- **本機には蓄電池への充電機能がありませんので、ACアダプタと蓄電池を同時に使用しても、蓄電池は充電されません。**

ACアダプタの収納方法

ACアダプタは、リアカバー内部に収納することができます。

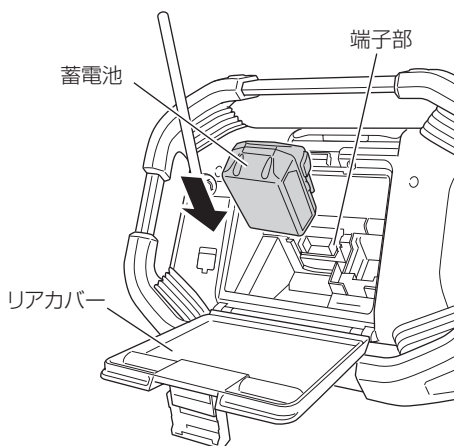
準備

●蓄電池の取付け

⚠注意

端子部には触れないでください。
端子部で手を切るなど、思わぬけがの原因になります。

本機には 14.4 Vまたは 18 Vのスライド式蓄電池のみ使用できます。

蓄電池の取付け

リアカバーを開けて、蓄電池を本機の溝に合わせ、奥まで挿入します。

注
- **蓄電池を挿入するときは、無理な力をかけないでください。簡単に入らないときは、正しく挿入されていません。**
  取付ける向きが間違っていないか、異物が挟まっていないか確認してください。
- **蓄電池を取付けて電源を入れたとき、[電池マーク] が表示されたときは、蓄電池の容量が少なくなっています。**
  ACアダプタで電源をとるか、充電された蓄電池を取付けてください。

●日付表示を変更する

日付表示は、下記から選ぶことができます。

・YYYY/MM/DD（年/月/日）
・MM/DD/YYYY（月/日/年）
・DD/MM/YYYY（日/月/年）

電源ON時、OFF時のどちらでも設定することができます。

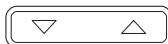
①メニューボタンを押します。

MENU

②選択/選局ボタンを押して「DATE DISP」を表示させます。

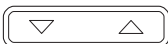
▽ △ DATE DISP

③決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

④選択/選局ボタンを押して、希望する日付表示を表示させます。

▽ △ YYYY/MM/DD

⑤決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

●日付を合わせる

日付の設定は、操作パネルの操作を次の手順で行います。

電源ON時、OFF時のどちらでも設定することができます。

①メニューボタンを押します。

MENU

②選択/選局ボタンを押して
「DATE ADJ」を表示させます。

 DATE ADJ

③決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

④選択/選局ボタンを押して
「西暦」を合わせます。

 2014

⑤決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

⑥選択/選局ボタンを押して
「月」を合わせます。

 03 / 01

⑦決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

⑧選択/選局ボタンを押して
「日」を合わせます。

 03 / 31

⑨決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

●時刻を合わせる

時刻の設定は、操作パネルの操作を次の手順行います。

電源ON時、OFF時のどちらでも設定することができます。

①メニューボタンを押します。

MENU

②選択/選局ボタンを押して
「CLOCK ADJ」を表示させます。

 CLOCK ADJ

③決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

④選択/選局ボタンを押して
「時」を合わせます。

 12 : 00

⑤決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

⑥選択/選局ボタンを押して
「分」を合わせます。

 12 : 55

⑦決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

⑧選択/選局ボタンを押して表示方法を
「12 時間」または「24 時間」を選びます。

 12H 24H

⑨決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

ラジオ放送を聞く

● FM・AM放送を聞く
● 選局は自動、手動、プリセット（登録）の 3 通り

FMまたはAMを選ぶ

①電源を入れます。

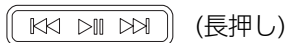
②ソースボタンを押し、
ラジオのバンド（ＦＭ/ＡＭ）を選択します。

AM　FM

受信する

自動選局で受信する

サーチボタンを長押しすると、
電波の強い放送局まで自動でサーチさせることができます。
次の放送局を選局するには、もう一度サーチボタンを長押ししてください。

(長押し)

手動で選局する

サーチボタンを押して周波数を変え、
選局します。

プリセット（登録）された放送局を受信する

選択/選局ボタンを押すと、
プリセット（登録）した放送局をすばやく選局できます。

ご購入時は放送局がプリセットされていませんので、次の手順で登録します。

<手動プリセット登録>

①登録したい放送局を受信し、
メニューボタンを押します。

②選択/選局ボタンを押して
「PRESET」にします。

PRESET

③決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

④選択/選局ボタンを押して
登録する番号を「０～９」から決めます。

PRESET　2

⑤決定/表示切替ボタンを押すと、
登録完了です。

ENTER INFO

＜自動プリセット登録（オートプリセット）＞

お使いの場所で受信できる放送局を自動で登録することができます。
（最大 10 チャンネル）

①メニューボタンを押します。

MENU

②選択/選局ボタンを押して
「AUTO SCAN」にします。

AUTO SCAN

③決定/表示切替ボタンを押すと、
オートプリセットが開始され、受信可能な放送局が自動的に登録されていきます。

ENTER INFO

注
- **電波が弱く受信状態が良くないときは、放送局が登録されません。**
- **使用する場所によっては、放送局でないもの（ノイズ）が登録されることがあります。**
- **「FM」モードでUSB充電するときは、P 21 を参照してください。**

よりよく受信するために

●FM放送

アンテナの向き、角度を変えて、調整してください。

ステレオ放送を受信すると「STEREO」が表示されます。
雑音が多いときは、モノラル受信に切替えると雑音が軽減されます。

＜モノラル受信に切替える＞

①メニューボタンを押します。

MENU

②選択/選局ボタンを押して
「STEREO」にします。

STEREO

③決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

④選択/選局ボタンを押して「OFF」にします。

OFF

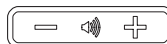
⑤決定/表示切替ボタンを押して、設定完了です。

ENTER INFO

●AM放送

本体を動かして、もっともよく受信する向きにしてください。

＜音量調整＞

音量ボタンで調整します。
0 ～ 30 の範囲で調整できます。

音質を調整する

●BASS(低音)・TREBLE(高音)を6段階に調節

お好みに合わせて音質(低音・高音)を調節することができます。

①メニューボタンを押します。

MENU

② 選択/選局ボタンを押して
「SELECT EQ」を表示させます。

③決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

④ 選択/選局ボタンを押して
「BASS(低音)　0～5」を選びます。
5で低音が最も強く出ます。

〈弱い〉　〈強い〉
0・1・2・3・4・5

BASS　3

⑤ 決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

⑥ 選択/選局ボタンを押して
「TREBLE(高音)　0～5」を選びます。
5で高音が最も強く出ます。

〈弱い〉　〈強い〉
0・1・2・3・4・5

⑦ 決定/表示切替ボタンを押して
調整完了です。

ENTER INFO

注
- **音量が25以上の場合は「0～4」の範囲で「5」は設定できない仕様となっています。**
- **BASS(低音)もしくは、TREBLE(高音)が「5」のときに音量を25以上にすると、自動的に「4」となります。さらに音量を24以下にした場合、自動的に「5」に戻ります。**

音楽プレーヤーを再生する

●スマートフォン、MP3プレーヤーなどの音楽を楽しむ

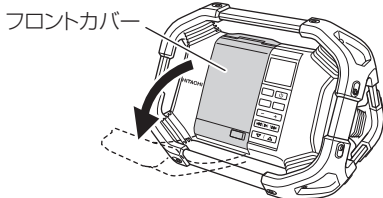
スマートフォン、携帯音楽プレーヤーなど、外部機器の音声を聞くことができます。

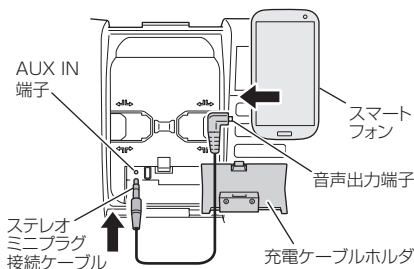
⚠注意

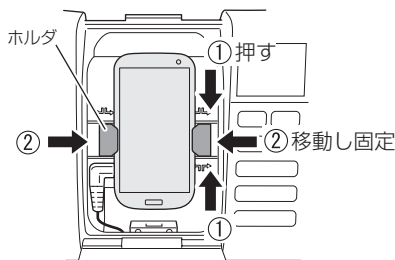
プレーヤー側の音量を下げてから再生してください。

注 **接続ケーブルのプラグは、ストレート型とL型があります。大型の外部機器を接続・収納する場合は、L型を使用してください。**

1 外部機器収納部を開く

本機の電源を切り、フロントカバーを開きます。

2 外部機器を接続する

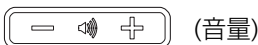
ステレオミニプラグ接続ケーブル（φ 3．5㎜市販品）を本体のAUX IN端子に接続し、外部機器を音声出力端子に接続します。

3 外部機器を固定する

左右のホルダの上下をつまむと、ホルダを左右に動かすことができます。
外部機器をはさみ込んで固定します。

4 再生する

本機の電源を入れ、ソースボタンを押して「AUX」を表示します。

SOURCE　AUX

お手持ちの外部機器の音量を下げてから、曲を再生します。
音量は本機でも調節できます。

［－ 🔊 ＋］（音量）

選曲、音量調節が終わったら、フロントカバーを閉めます。

注 **外部機器側の音量が小さいと、音量が上がらない場合があります。**

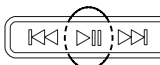
注
- **スマートフォンを接続した際、着信時に着信音がスピーカーから出ない機種があります。**
- **炎天下など、高温になる場所で使用すると外部機器が故障する恐れがあります。**
- **「AUX」モードでUSB充電するときは、P 21 を参照してください。**

使い方

Bluetooth機器と接続する

●スマートフォン、MP3プレーヤーなどの音楽をBluetoothで再生する

スマートフォン、携帯音楽プレーヤーなどがBluetooth対応機器の場合、Bluetooth通信によって本機から音声を出力できます。

1 ペアリング(機器の登録)をする

Bluetooth通信をするためには、まずペアリングを行います。

お手持ちのBluetooth機器を、ペアリングモードにします。

(操作方法が不明な場合は、お手持ちのBluetooth機器の、取扱説明書をお読みください。)

2 本機をペアリングモードにする

ソースボタンを押して「Bluetooth」を表示します。

SOURCE　Bluetooth

「Bluetooth」の表示が点滅するまで再生/停止ボタン(サーチボタン中央)を長押しします。

⏮ ⏯ ⏭ (長押し) READY

お手持ちのBluetooth機器に表示された接続機器リストから「HITACHI_UR18DSDL」を選びペアリングします。

3 パスキーを入力する

Bluetooth機器によっては、接続時にパスキーの入力を求められます。

この場合は「0000」を入力します。

また、接続の許可を求められる場合は「許可」を入力してください。

「CONNECTED」と表示されれば、接続完了です。 CONNECTED

注
- **一度ペアリングすると次回からは自動的に接続されますが、接続されないときは、再度ペアリングを行ってください。**
  ペアリングされないときは、お手持ちのBluetooth機器に表示された「HITACHI_UR18DSDL」の登録を一度解除して、再度ペアリングを行ってください。
- **同時に 2 台以上の機器とペアリングすることはできません。**
- **全てのBluetooth機器との接続を保証するものではありません。必ず事前に接続の可否を確認してください。**

4 再生する

お手持ちのBluetooth機器の音量を下げてから、曲を再生します。
音量は本機でも調節できます。
選曲操作はお手持ちのBluetooth機器で行います。
または、本機の下記操作ボタンでも行えます。

− 🔊 ＋ (音量)

⏮ ⏯ ⏭ (再生/停止、選曲)

注
- **Bluetooth機器によっては、本機の操作ボタンで動作しないことがあります。**
- **「Bluetooth」モードでUSB充電するときは、P 21 を参照してください。**

●スリープタイマー設定

スリープタイマー機能を設定すると、設定した時間で電源を切ることができます。

①メニューボタンを押します。

②選択/選局ボタンを押して
「SLEEP」を表示します。

SLEEP

③決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

④選択/選局ボタンを押して
電源が切れるまでの時間「0 - 90 分」
を合わせます。

30 MIN

⑤決定/表示切替ボタンを押して
設定完了です。

ENTER INFO

⑥液晶表示部に SLEEP が表示されます。

○残り時間を確認するときは、再度設定で「SLEEP」を選択すると確認できます。

○スリープタイマーを解除する場合は、電源が切れるまでの時間を 0 分に設定します。

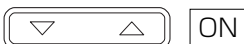
●目覚まし時計設定（ブザーアラーム）

目覚まし時計設定機能を使うと、設定した時刻に「ピ、ピ、ピ…」とアラームを鳴らすことができます。

電源ON時、OFF時のどちらでも設定することができます。

①メニューボタンを押します。

MENU

②選択/選局ボタンを押して「BUZZER ALM」を表示します。

BUZZER ALM

③決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

④選択/選局ボタンを押して「ON」を表示します。

ON

⑤決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

⑥選択/選局ボタンを押して「時」を合わせます。

12 : 00

⑦決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

⑧選択/選局ボタンを押して「分」を合わせます。

12 : 30

⑨決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

⑩選択/選局ボタンを押して繰り返しの設定をします。

1回のみ	「ONCE」
毎　　日	「DAILY」
平日のみ	「WEEKDAY」
土日のみ	「WEEKEND」

DAILY

⑪決定/表示切替ボタンを押して設定完了です。

ENTER INFO

液晶表示部に が表示されます。

○目覚まし時計設定を解除するときは、再度設定で「BUZZER ALM」－「OFF」を選択してください。

○アラーム音は約10分で自動停止します。また、どれかボタンを押すと停止します。

注 **ブザーアラーム音量は、変更することができません。**

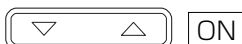
●ラジオONタイマー設定

ラジオONタイマー機能を使うと、設定した時刻に電源が入り、ラジオ放送を聞くことができます。

電源ON時、OFF時のどちらでも設定することができます。

①メニューボタンを押します。

MENU

②選択/選局ボタンを押して「RADIO ALM」を表示します。

▽ △ RADIO ALM

③決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

④選択/選局ボタンを押して「ON」を表示します。

ON

⑤決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

⑥選択/選局ボタンを押して「時」を合わせます。

▽ △ 12 : 00

⑦決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

⑧選択/選局ボタンを押して「分」を合わせます。

▽ △ 12 : 55

⑨決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

⑩選択/選局ボタンを押して繰り返しの設定をします。

1回のみ	「ONCE」
毎　日	「DAILY」
平日のみ	「WEEKDAY」
土日のみ	「WEEKEND」

▽ △ DAILY

⑪決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

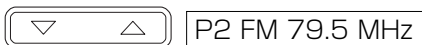
⑫放送局を選びます。
選択/選局ボタンを押して
「AM」または「FM」を表示します。

▽ △ FM

⑬決定/表示切替ボタンを押します。

ENTER INFO

⑭選択/選局ボタンを押して登録されている放送局を選びます。

▽ △ P2 FM 79.5 MHz

周波数で選局するときは
サーチボタンで周波数を合わせます。

FM 80.0 MHz

⑮決定/表示切替ボタンを押して設定完了です。

ENTER INFO

液晶表示部に が表示されます。

○ラジオONタイマーを解除するときは再度、設定で「RADIO ALM」−「OFF」を選択してください。

注 **ラジオの音量は、直前の電源OFF時の音量で鳴ります。**

使い方

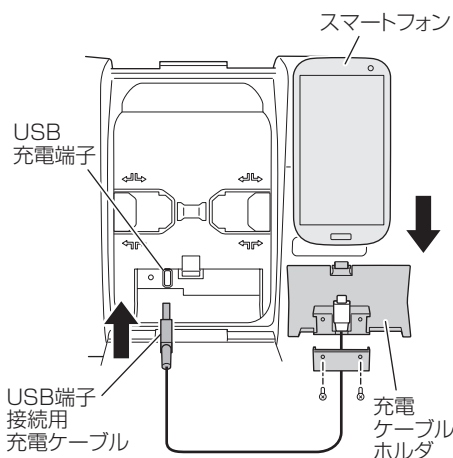
スマートフォンを充電する

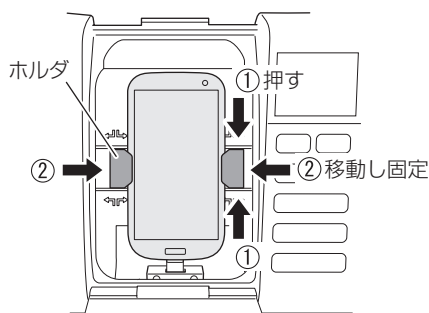
●USB充電端子からスマートフォンや携帯電話の充電をする

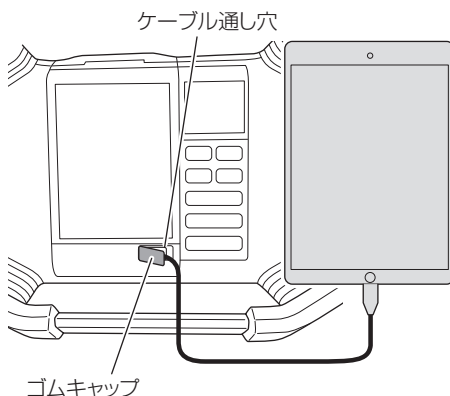
スマートフォンや携帯電話を本機に接続して充電できます。

「FM」「AUX」「Bluetooth」のいずれかのモードで選択できます。
(「AM」モードでは充電できません。)

注
- 「AUX」「Bluetooth」モード時は、音量を 20 以下に設定して使用してください。
  音量 21 以上では、USB出力を停止し、スマートフォンや携帯電話の充電ができない仕様となっています。
  (「FM」モードでは、音量 21 以上でもUSB充電が可能です。)
- USB充電時、まれに音の途切れや、電源が落ちる場合があります。
  その際は、音量を下げる、もしくはUSB充電を止めてください。
- 蓄電池残量が少なくなると、自動でUSB出力を停止し、スマートフォンや携帯電話の充電ができない仕様となっています。
  この場合、蓄電池を充電、もしくは充電済みの蓄電池と交換してください。
- ACアダプタ使用時で、AC電源電圧が低いときは、USB出力が停止され、充電できない場合があります。

①市販のUSB端子接続用充電ケーブルを外部機器収納ケース内のUSB充電端子に接続します。

②ホルダで固定してカバーを閉じます。
（P 16「❸ 外部機器を固定する」参照）

注
- **本機の電源として蓄電池を使う場合は十分に充電されている状態で、使用してください。**
  蓄電池の充電容量が少なくなると、スマートフォンや携帯電話の充電ができなくなります。
- **充電時間は、使用するスマートフォンや携帯電話によって異なります。**
- **スマートフォンや携帯電話の充電以外に使用しないでください。**
- **スマートフォンや携帯電話の種類によっては、充電できない場合があります。**

充電ケーブルホルダは、Android用とApple社（Lightningコネクタ）用の2種類を付属しています。
お手持ちの機器に合せて、選択してください。

○お手持ちの機器が外部機器収納ケースよりも大きい場合には、ケーブル通し穴からケーブルを引き出してください。

注 **充電ケーブルホルダは標準的なサイズの端子に合わせて設計されているため、充電ケーブルの種類によっては、端子を固定できないものもあります。**

使い方

点検とお手入れ

⚠警告

長期間使用しないときや点検・手入れの際は、必ずACプラグ、蓄電池、乾電池を製品本体から抜いてください。

●本体はきれいに

機体が汚れたら、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけてふき、そのあとにからぶきしてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用がありますので使わないでください。

●取付ねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。
そのまま使用すると危険です。

●製品の保管

次のような場所には保管しないでください。

●お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
●湿気やほこりの多い場所
●自動車の車内や直射日光の当たるところなど高温になるところ
●冷気が直接吹き付けるところや、極端に寒いところ
●温度が急変するところ
●調理台や加湿器のそばなど、煙や湯気が当たるところ

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店にご持参ください。
なお、新しい蓄電池は、当社純正品をお使いください。
当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　　　年　月　日	製造番号(NO.)
販売店（TEL）	

全国営業拠点

お客様相談センター　※土・日・祝日を除く　9：00～17：00	
●フリーダイヤル 0120-20-8822	※携帯電話からはご使用になれません。 携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。 ※長くお待たせする場合があります。 お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783−0626	TEL (076) 263−4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896−1740	TEL (0798) 37−2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288−8676	TEL (082) 504−8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 5733−0255	TEL (087) 863−6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533−0231	TEL (092) 621−5772

■ 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html

右のQRコードをバーコードリーダー機能付きの携帯端末より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号（品川インターシティA棟）
営業本部　TEL（03）5783-0626（代）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

411
部品コード　C99712802 Ō